

議事の経過・会議録の概要

会議名	河内長野市公共施設再配置計画策定検討委員会（第10回）
開催日時	平成29年9月29日（金）午前10時～午前10時30分
開催場所	市役所8階 801（東）会議室
出席者 （敬称略）	<p>【委員】 和田委員長、前田副委員長、甲斐委員、河原委員、中野委員</p> <p>【職員（事務局側）】 小西総務部長、辻本資産活用課長 木谷資産活用課参事、内山資産活用課課長補佐兼係長 鳩田資産活用課員、柴田資産活用課員</p> <p>【(株)総合計画機構】 1名</p>
傍聴人数	0名
会議の概要	<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 議事<ol style="list-style-type: none">1) 河内長野市公共施設再配置計画策定について（答申）3. 閉会

1. 開会

2. 会議成立の報告について

5名の委員出席により委員会の成立を報告。

(公共施設再配置計画策定検討委員会設置条例第6条第2項)

3. 資料の確認

- ・会議次第
- ・河内長野市公共施設再配置計画策定について（答申）

4. 議事

議事 1. 河内長野市公共施設再配置計画策定について（答申）

公共施設再配置計画策定に係る答申(案)について事務局から説明。

【委員長】

第9回の委員会で皆さまからいただきました貴重なご意見をできる限り盛り込んだ答申(案)になっています。この内容で答申を行なってよろしいでしょうか。

<一同同意>

【委員長】

そうしましたら、本日で最後ということですので、委員の皆さまから一言ずついただきたいと思います。

【副委員長】

本日が最後ということで少しお話をさせていただこうと思います。この一年間、色々な形で河内長野市の公共施設の状況等についてお話を聞いた中で、取り組むべき課題が見えてきたという気がします。今後、それらを検討していただければと思います。また市民代表の3名の方から利用者目線でのご意見をいただいたことは、再配置計画のなかで生かされると思います。

また、河内長野市には都市部にはない自然という強みがあることを職員に認識していただいて、これを売りにしていかにやっていくかが大きなポイントかと思います。さらに、公・民が協働で河内長野市の良さを引き出して、奥河内の住みよい街としていつまでも持続できるようにがんばっていただきたいと思います。

それから前回クラウドファンディングについてお話をさせていただきましたが、ふるさと納税が寄付型で流行っているということを加味すると、このやり方は市民からの感

触をつかむという意味で個人目線の評価として活用できればと思います。

もう一つ、サウンディング調査についてです。先日、PPP/PFI 協会の方からお話を聞いたところ、サウンディング調査は民間事業者や団体の目線においての市場調査として使っていくのが良いのではないかとということで、クラウドファンディングとサウンディング調査では、事業の形を変えていく方が良いという気がしました。

サウンディング調査は、自治体のホームページに掲載して民間からの意見、提案をもらうもので、費用がかからないため、全国的に流行っており、河内長野市でもされてみてはどうでしょうか。応募と事業者へのヒアリングを含めて 2 ヶ月くらいかかるそうです。事業を進めていく際、サウンディング調査を行うことによって民間事業者が手を挙げてくるようであれば可能性がある事業ということになり、手を挙げないような事業はすべて市の持ち出しになってしまうため、気を付けないと最終的に市に借金が残ってしまいます。サウンディング調査をすることで決断する判断材料になると思います。

河内長野市には色々な課題がありますが、一つにホールが多いということと、補助金の話は抜きにして三日市や河内長野駅前再開発ビルの利活用について、民間事業者からの意見を聞くというのも一つの手かと思いました。また先ほども言いましたが、自然を生かした施設について、民間であればこのような諸条件をどうクリアして収益に結びつけていくのか、その辺を見極める意味でもサウンディング調査をすれば、一つの手がかりが見つかるかもしれません。

事例として、岡山県の玉野市で、今後の市有財産のあり方を検討するために民間事業者からの提案を広く募集し、ヒアリングを行っています。市場性のある市有財産から優先的に検討を進め、今後の再編整備や地域活性化につなげていく考えを示されています。サウンディング調査の対象としては、17 施設 3 物件、それに 74 の都市公園が含まれています。

また、伊丹市が道路整備の余剰地として残った 169 m²の土地についてサウンディング調査を行ったところ、事業者からパーキングの提案があったという話を聞いています。市の内部で悩んでいるばかりでなく、他の人からの意見を聞くという意味で、市場調査をして、解決策を見出すのも大事かと思います。

もう一つは、河内長野市に住まれている方の人材発掘が必要という気がします。河内長野市には、色々な事に関わりを持たれている方がたくさんおられ、そういった方に市としてうまく協力していただく形が必要だと思います。

最後にPR面が不足しているという部分では、地元に関わりのある芸能人やタレントを発掘したり、鯖江市のようにアイドルを課長に任命したり、河内長野市でも考えてみてはどうでしょうか。

一人でも多くの職員がやる気を感じてもらえる取組みがないとなかなか難しいと思います。皆さんには、常にチャレンジ精神を忘れずに頑張ってくださいと思います。それが私の最後の意見です。

【委員】

はじめてここに来て、市長から辞令をいただいた時に、緊張しすぎたことを思い出しました。

この10回すごく勉強になりました。あるのが当たり前だと思っていた施設、受けるのが当たり前だと思っていたサービスにも、ものすごくお金が使われていて、みんなの力で維持しているということがわかりましたし、無くなったら困るということもあるので、それをどうやって維持、管理していくのかを、市民も一緒に考えていかないとダメで、人任せにしているのはダメだなと実感しました。

この10回色々わがままを言い過ぎたという思いもあります。用語集については、他にも使いたいと思いますし、こんなに丁寧に作っていただいてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました、お世話になりました。

【委員】

この委員会に出席させていただいて、目から鱗のことがたくさんありました。

私は子どもに関わることをたくさんしていますので、そういう施設を大事にしていたきたいというところがあります。やはりお金をかけるところにはお金をかけていただいて、活用できるようにしていただけたらと思います。

【委員】

この委員会に参加させていただき、ずいぶん勝手な意見を言いましたが、答申を上手におまとめいただき、ありがとうございました。

今後は、行政の執行部で手続き等を進めていかれると思いますが、事務を直接進められるのは、職員の皆さんになり、たいへん難しい場面にも出会うことになると思います。この委員会での先生、市民委員から出された意見を反映できる努力をしていただき、実現できるように職員の皆さんにお願いし、あわせてお礼申し上げたいと思います。

【委員長】

第1回目は、昨年10月21日で、河内長野市をリフレッシュする検討会として、委員の皆さまにも新たな発見があったと思います。こういう委員会に参加しないと見えない自分の市の良さや、当たり前だと思っていたことが実は・・・、といったものが見えてきます。この1年、皆さまとご一緒に、副委員長からの専門的な意見、市民の御三方からの市民目線での意見が出され、そして事務局の方に我々の意見をしっかり汲み取っていただき、非常に尊重していただいて、市民、公、専門家の三位一体、皆さまの意見が入った答申になると思っております。

私も微力な部分がありましたが、市民委員の割合が多く、市民の意見がこれだけ入った委員会は無いと思われまして、市民目線の非常に重要なご指摘がありました。そして副委員長がおっしゃっていましたように、まだまだ河内長野市には人材がいらっしゃる

ということで、皆さまのバックに良い方がいらっしゃるという前提で、市民と市との協働のまちづくりをこれからはなさっていただきたいと思います。

本当に丁寧な答申で、市民の方になるべく読んでいただける内容になりましたので、今後、職員の皆さまには大変な部分もあるかと思いますが、周囲の方にもやる気とモチベーション、そしてケアをする環境を作ってください、動かしていただければと願っております。

1年間にわたり皆さまにご協力いただきましたことを、本当に感謝しております。どうもありがとうございました。

議事2. その他

【事務局】

本日の会議録につきましては完成次第送付させていただきますので、ご確認をよろしくお願いします。

それでは市長へ答申を行うため、皆さま市長室へ移動していただくようお願いします。

【委員長】

これにて、諮問を受けました議題につきまして、すべての日程が終了いたしましたので、本委員会を閉会としたいと思います。

以上